

# 蟹猫物語



成年向  
ADULT ONLY







前回までののあらずじ

僕は  
戦場ヶ原ひたぎと  
付き合うことにな  
った

そして  
戦場ヶ原と  
セックスして  
セックスしまくって

いわゆる  
ラブラブな  
状態である

戦場ヶ原とは  
良好な関係を  
築いている

もはや  
お互いが必要と  
お互いしていること  
を自覚している  
からだろう！

それ以外に  
大したことではないが

ファイアーシスターズと  
セックスしたことがバレたり

羽川さんをおかずに  
オナニーをしたりと  
多少の罪悪感を感じているが







キーン



阿良々木くん…



ああ…  
そっか

これは阿良々木くんだけだ  
阿良々木くんじゃないんだ





また  
私の新しい  
妹が生まれて

阿良々木くんを  
そうさせて  
いるんだね…



私って最低

こんな形で  
実現させ  
ちゃってるんだ

私  
が  
ち  
を  
伝  
え  
ら  
れ  
な  
い  
か  
ら







だから阿良々木くんも  
気持ちよくなつて  
くれてると嬉しいな

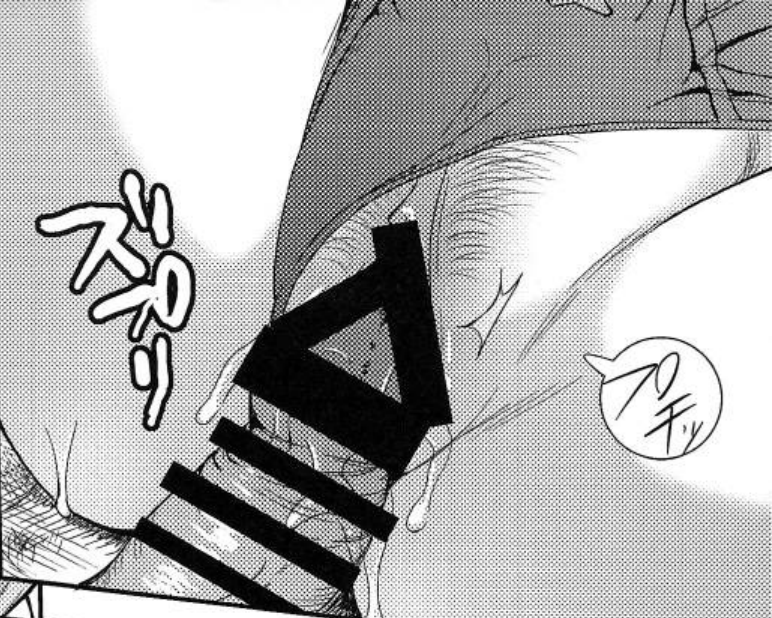
はは

阿良々木くん  
実は私ね...

今とつても  
気持ちがい  
いんだよ

はは

はは



ズレ



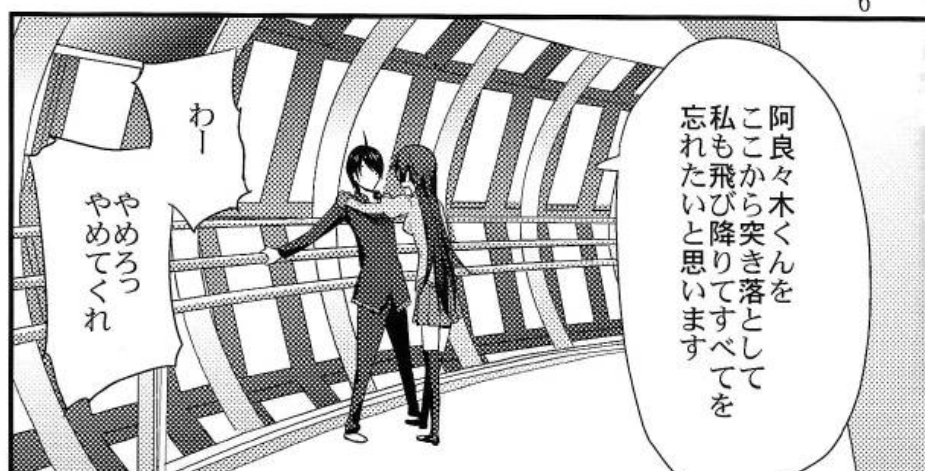
4















妄想といえば  
こういう事を考えているのが  
普通だと思っていたけれど…



私とここで  
セックスを  
しましょう

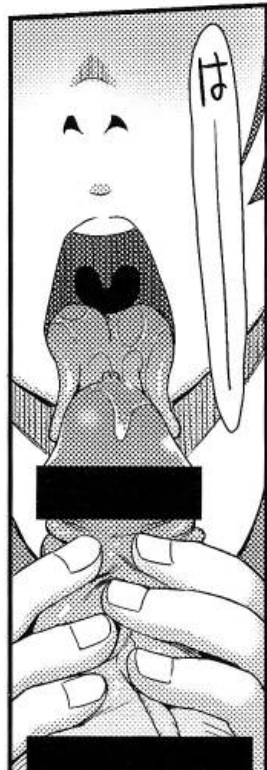
えっ  
マジで!?



どうやら  
戦場ヶ原の妄想レベルは  
結構アブノーマルなとこまで  
成長しているみたいだ

いやあ  
脳みその中まで  
見られてるみたいで  
恥ずかしいよ









阿良々木くんが  
荒いのもより息が  
空気が薄いから  
かしら？

ん...うあつ...  
くっ...ん

いや...  
そういうわけ  
じゃなくて



阿良々木くんの  
チ●ポをしゃぶりながら  
絶賛オナニー中よ



タワ...の  
入り口には  
何千人もいる  
ようなところで

こん...なこと  
してたら...嫌でも  
興奮する...さ...んぐ



んふっ...  
あら奇遇ね...

私も同じ理由で  
興奮しまくって

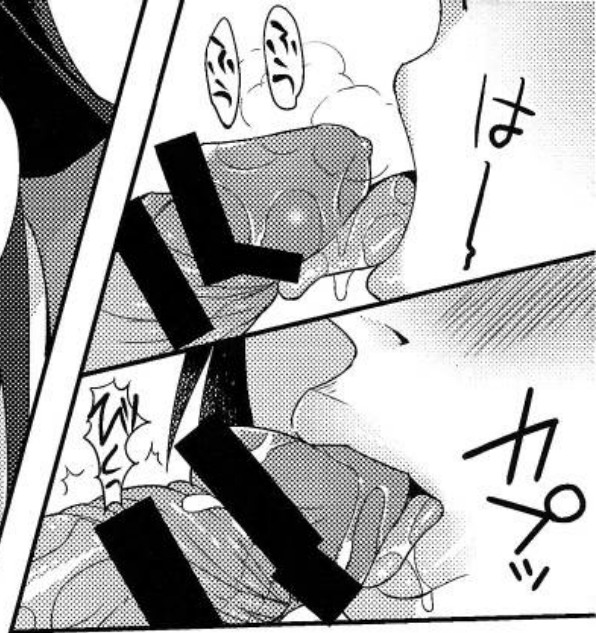




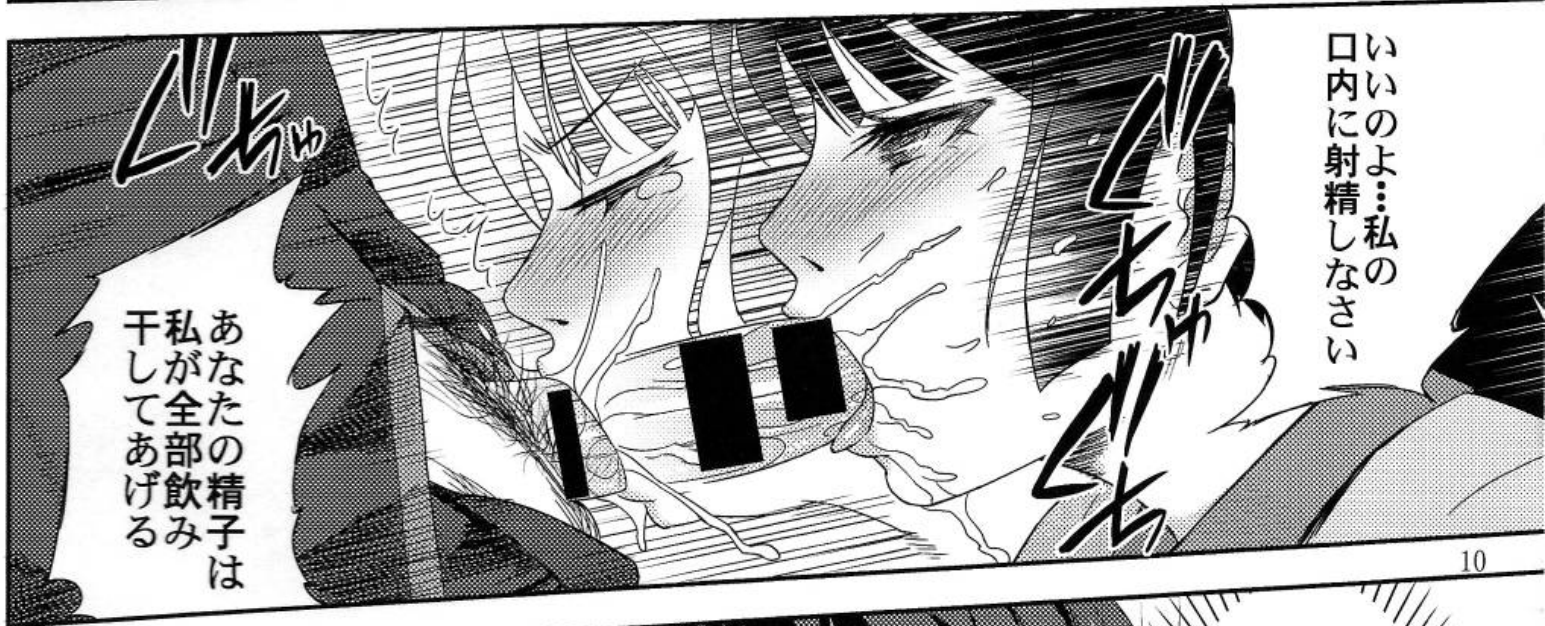
もう我慢  
できないのね

クスト...

ネキョー



カギ



いいのよ...私の  
口内に射精しなさい

あなたの精子は  
私が全部飲み  
干してあげる



戦場ヶ原の  
お口ピストンが  
めちやくちや  
上手くなつてる





射火  
精木

カッパ

カッパ



はあ~~~~~  
阿良々木くんの  
精子...美味しい♡



すごい吸引力で  
僕の精子が尿道の  
中まで搾り取られてる





もう3日も  
ご無沙汰してたのだから  
まだまだ満足  
できないんでしょう？

今回は特別に  
お尻からの  
「お●んこくばあ」を  
魅せてあげるわ



こんな格好を  
拜めるなんて

この先  
一生ない  
でしょう  
から

その下劣な眼に  
焼き付けなさい

ひたぎさん  
大胆ツ!!

こんなところで  
いきなりお尻をみせて  
「おま●こくばあなんて  
言うところが戦場ヶ原に  
感心しつつも  
歓心させられてしまう

お●んこくばあ...





戦場ヶ原も緊張しているのかい  
腔内がすごくきつい

はぁ...



私の腔内がパンパンになっているわ

今日はずいお●んちん硬くて大きい...



阿良々木くん... 挿入しただけで思わず「はぁん」なんて甘い声が出ちゃった

ぎゅ〜ん





当たり前じゃないか

こんな状況で興奮しないさわけがないさ

さっさと終わらせないと人がきちやうから一気にイくよ



きなさい…

床にこぼれるといけないから膣内に残らず全部射精すのよ



うおおお戦場ヶ原に中出し



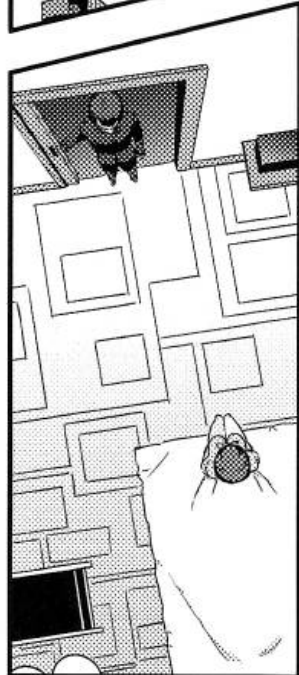






羽川？

こんばんわ  
阿良々木くん



今日のデートは  
結果だけいうと  
楽しかった

あ後は  
色々あったが

あえて愉しめた  
とだけ結論づけて  
おこう



今日は何か  
僕と会う予定  
だったかな？

ううん  
予定は  
ないよ

でも  
今から会う  
約束をしようか



さつそく  
家に戻ったら  
今日の思い出で  
オナニーでもして  
寝ようかと



先日  
僕は羽川をフツた

それがお互いの  
関係性に決着が  
ついたかもしれない



ん？…ああ  
よくわからない  
けどわかった

そして羽川が  
僕の部屋にいても  
それを問題と  
認識していないのだ

突然の  
羽川の訪問だが  
今日の僕はなぜか  
驚くどころか

そこに羽川がいることに  
何の抵抗も感じない



それはでも  
おはなすに  
オナニーが  
しているが

それはこれ  
これはこれ  
TPOって  
やつだ





セックスしよ

あのね  
阿良々木くん

ニコッ



何を言ってるのか  
わかつてるのか？羽川



ブラッ  
ク羽川？

どうしたんだ！  
いきなり羽川が  
こんなことを  
言うなんて！

ドキ



ムニ

一瞬  
ブラッ  
ク羽川かと  
思ったが！違う

これは野生の  
本能が芽生えた  
メスの羽川翼だ



私ね！  
阿良々木くん  
にフラれて自分の  
思うとおりの人間  
らしく生きるよ  
うと思ったの

だから  
阿良々木くんは  
私のことなんか  
好きにならな  
くてもいいよ

だけど私は阿良々木くんが  
好きだからセックスするの





普通  
夜這いというのは  
男性の方から  
女性にたいして  
行おう行為だと  
思うが…

そういうのを  
考えるのは  
どうでもよく  
なってきた



おちんちん  
出してくれるかな  
阿良々木くん

えっ…あっ

こういうのを  
夜這いつて  
いっくんだろうね



全然ぎこちないが  
あの羽川の顔を  
みているだけで

僕のチ●ポは  
ギンギンだ



あの羽川が  
舐めている  
ほを

どれだけ  
妄想でして  
もらったことか…

気持ちいいかな？

う…うん…うん





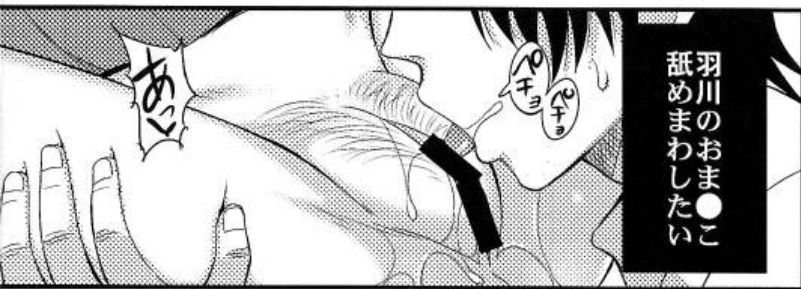
羽川のおっぱい  
しゃぶりたいたい



良かったら  
私のも触って  
くれるかな

もう我慢  
できない

は…羽川…



羽川のおま●こ  
舐めまわしたい



す…すこい  
格好だね…んっ

あ





お願い  
阿良々木くん

もう…  
我慢できないよ

気が済むまで  
思いつきり  
お●んちんを  
挿入れて

んんん



野生の羽川も  
受け入れよう  
じゃないか  
阿良々木暦



ああ…

羽川が  
変わつても  
俺は何も  
変わらない  
約束したんだ



すつごく  
大きいよ

阿良々木くんが  
挿入つてきてる

あーあーあー





大好き

してえ

とつても  
気持ちいいよ  
阿良々木くん

もっつて



だから阿良々木くんも  
気持ちいいよって  
くればよって

この感じている  
表情：見覚えが  
あるような：

はっ！





思い出すのに  
時間がかかったが  
僕は春ごろに羽川と  
セックスしてる

僕は羽川と  
セックスしたのは  
はじめてじゃない

僕の童貞喪失は  
羽川の処女喪失の  
時だ



もっと激しく  
できるはずだよ

私は阿良々木くんの  
おちんちんで  
思いつきり膣内で  
射精して欲しいだけ







エロすぎだろ  
羽川っ

あんっ

うおおおおお  
おおおおお!

はっ...  
羽川あ!

はっ  
はっ  
はっ

阿良々木くんの  
精子いつばいきたあ









暴力の欲求は  
満たしたわ

ふう…



だけどね  
阿良々木くん…

まだ  
満たされて  
ないの…



これで  
羽川さんに見劣りする  
ところはなくなったわ



ああ  
さっぱり

チヨキ  
チヨキ  
チヨキ

チヨ  
キ



一緒に  
したいんかい!

私も混ぜて



えっと…私を  
満足させてみなさい?

なので…私を  
満足させましょう?



私をこのまま  
帰らせるつもり  
かしら?

羽川さんとの  
セックスを  
見せつけておいて





さすが  
羽川さん

優しすぎて  
惚れちゃいます

一緒に  
しよっか♡



うん  
そうだよ

戰場ヶ原さんだけ  
除け者にしちゃう  
なんてことでき  
ないよ...だから



今日二度目の  
おま●こくぱあ

ほひほひ  
はやくやろいんちめ





というか頭の中は  
目の前の二人の裸で  
埋め尽くされている  
状態だ

ああ..  
見られちゃってる

はあっ

もうセックスする  
ことだけ考えよう

挿入つてるとこ  
よく見えてるぞ  
戦場ヶ原

もつと...あん  
見てえ



あんっ...昼間より  
もつと激しい...

こんな阿良々木くん  
はじめて...はあん

俺も気持ちいいぞ  
戦場ヶ原ア





このまま永遠に  
突いて突いて  
突きまくって

いきっぱなしの  
私のオ●ンコを  
刺激しまくってえ



おっぱい揉んで  
ペロチユして  
オ●ンコの中  
ぐちゅぐちゅと  
かき回して





射精るう  
戦場ヶ原あ！



羽川っ

はい  
次いつてみよー

愛してるわ  
阿良々木くん

俺もだよ...  
戦場ヶ原





ははは

あ

せんじょう...  
かひやりやひゃん

はねかわひゃんと  
せし...くひひ...はひ



どぢや  
どぢや  
どぢや

あははは  
あははは

ははは

ははは

あん

あははは  
あははは



あはは

二入のたまは  
コン...コン...

あははは  
あははは  
あははは

もうダメだあ  
あああつ...イクツ

あ

あ

あ

あ

あ

あ

あはは  
あはは  
あはは

あはは  
あはは  
あはは

あはは  
あはは  
あはは



あ

あはは  
あはは  
あはは

あはは  
あはは  
あはは





羽川わあああ  
ああつ!!

戦場ヶ原あ  
ああつ!!



復子。



ありがとう  
戦場ヶ原さん

私のわがままに  
付き合っ  
てもらっ  
て…

もう迷惑は  
かけませ  
ん



どうやら  
今回だけは  
戦場ヶ原も  
特別に認め  
てくれたよ  
うだった



僕達はこれからも  
夜空に強く輝く  
ほの白い一等星たちが  
互いの恋する引力で  
星をつなぎ絵を描いていく

ああ…僕は  
まるで一番星を探して  
彷徨う銀河鉄道！

何言ってるんだ僕は…

冷静に考えたら  
ただの性奴隷だよな…